各常任委員会 視察報告

各常任委員会の調査視察の概要を報告します。

総務文教常任委員会　平成29年7月19日～21日

《大分県臼杵市》婚活事業の取り組み

臼杵市は三十代の未婚率が全国や県平均よりも高く、このため第一子の出生率も低い状況でした。これらの現状から結婚を希望する男女を結びつけるための取り組みが急務とされ、平成二十七年に婚活推進協議会が設立されました。二十～七十歳代の婚活支援団体や一般公募の市民等で構成されたボランティアでの活動でした。

主な活動内容は婚活イベントの開催、フェイスブックの立ち上げ等でした。特徴的なのは、結婚支援員を「イランショワさん（お世話焼きやおせっかいに似た意味）」と方言を使い愛着のある名前をつけて、婚活イベントのカップル成立に成果を上げていました。

婚活事業は少子化対策だけでなく、未婚の高齢者（孤独死等）減少のためにも必要であり、即効性がなく地道な取り組みですが大事な事業だと再認識しました。

臼杵市役所にて

《大分県別府市》PPPの取り組み状況

別府市では、市民ニーズの高度化や多様化などから、これまで行政が単独で取り組んできた分野に民間の力を生かし、より良い公共サービスの提供や財政負担軽減等を図るため、※PPPを導入しました。

平成二十八年度は事業の発案や検討段階で概要の公表を行い、民間事業者の意見や考えを収集するサウンディング調査を実施していました。

※PPP（パブリック　プライベートパートナーシップ）とは……行政と民間事業者が連携して公共サービスの提供等を行う仕組み

視察中の委員

観光経済常任委員会　平成29年7月12日～14日

《和歌山県和歌山市》住民主体のまちなかリノベーション

和歌山市では、「現代版家守（やもり）」と呼ばれる民間自立型のまちづくり会社が遊休不動産や公共空間のリノベーションを通じて都市型産業の集積を図り、雇用の創出やコミュニティーの活性化等につなげていました。

まちなかイロドリ事業

別のまちなかイベントの開催にあわせ、空き家・空き店舗などの遊休不動産を活用し、二日間限定で店をオープンする方へ補助をする事業を実施していました。まちなかをさまざまな店で彩るとともに、起業を目指す方を応援し、新しいチャレンジを起こすきっかけとなっていました。

和歌山市役所にて

《兵庫県姫路市》わかものジョブセンター事業

姫路市では、若者の勤労意欲や就業意識の向上を図るとともに、各人が持つ能力の再発見ができるよう支援し、より安定した職場への就職を支援するため、姫路駅前に「わかものジョブセンター」を開設し、就労支援相談のほか、キャリアカウンセリングや就職支援セミナーの開催などを実施していました。

六次産業化の支援と地産地消の取り組み

六次産業化に関しては加工品製造に係る機器購入経費の一部を補助していました。また、地産地消に関しては、学校食材に地元産食材を積極的に利用しているほか、ブランドマークによる普及啓発、生産者への支援、地元食材を使用する飲食店応援冊子の作成などを行っていました。

わかものジョブセンターを視察する委員